

演題12	<b>演題名</b> 山間部の拠点病院におけるソーシャルワーカーの外部連携
	<b>発表者</b> 伊藤 貴範 (岐阜県 国民健康保険上矢作病院) <b>共同研究者</b>



【1】

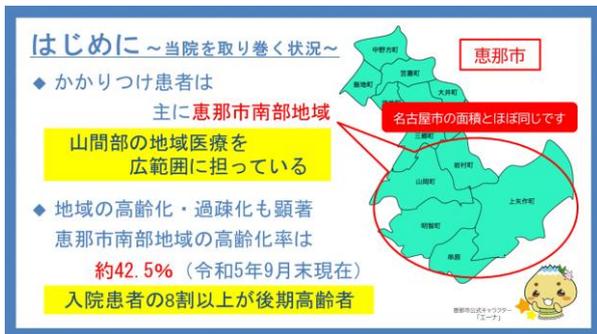


【3】

このような状況のなか、これからも当院が地域住民から頼られる病院であり続けるため、私たちは「包括的医療の展開」を目指しています。

しかし、これらは外部との連携なしには成り立ちません。

そこで当院ではソーシャルワーカーが中心となり、その推進を図っています。



【2】

はじめに、当院を取り巻く状況について  
かかりつけ患者は主に恵那市南部地域であり、山間部の地域医療を広く担っています。  
また、地域の高齢化・過疎化も顕著です。  
かかりつけ地域の高齢化率は約 42.5%であり、当院入院患者の8割以上が後期高齢者という現状です。



【4】

本日は、これら外部連携に係る取り組みのうち、多職種・施設との連携になる「地域ケア会議」と住民・行政との連携になる「健康福祉部会」のふたつを紹介させていただきます。

### 1. 地域ケア会議

- 地域の健康・福祉を担う、機関や職種の連携の場  
毎月開催されている**定例会議**
- 支援者間での**情報交換**や**事例検討**を行っている

- 毎月第3火曜日の16時から1時間～1時間30分程度  
開催場所は当院
- 冬季やコロナ感染拡大時にはZOOMも活用



【5】

### 1. 地域ケア会議

「地域ケア会議」とは、地域の健康・福祉を担う機関や職種の連携の場として、毎月開催されている定例会議となります。

支援者間での情報交換や事例検討を、主に行っています。

### 地域ケア会議 情報交換

**病院**  
 入院、通院、訪問中の患者の状況 など

⇔

**他機関**  
 サービスの利用状況  
 家族・本人の意向 など

- ◆ 定期的に**主治医と直接相談**できる心強い場
- ◆ 会議にて自宅での様子を事前に把握できたため、**地域の患者が入院した際の、スムーズなインタークや介入に繋がっている**
- ◆ 地域で動く**支援者のネットワークが強化**した（気軽に相談できる関係性になった）



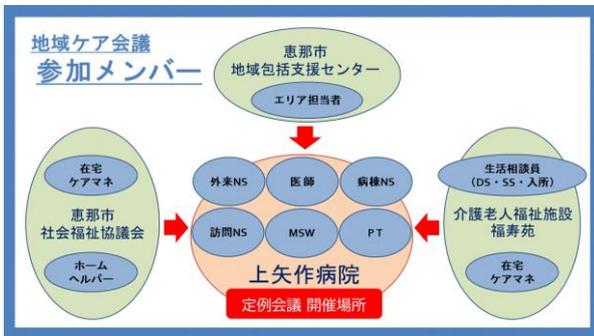
【7】

### 情報交換について

会議を効率よく進めるため、前回より著変のあった患者をピックアップして行います。

### 参加者の声より

- ・主治医と直接相談できる心強い場
- ・地域の患者が入院した際の、スムーズなインタークや介入に繋がっている
- ・地域の支援者ネットワークが強化された



【6】

### 参加メンバーについて

参加する機関はこちらの4か所。

当院は医師・看護師・理学療法士・ソーシャルワーカーで構成されています。

地域からは、ホームヘルパー・ケアマネージャー・生活相談員・地域包括支援センターが参加しています。

### 地域ケア会議 事例検討

**病院**

**他機関**

**ホスト**  
 (意見交換)

メンバーのいずれかが事例提供

- 多職種の見解やアドバイスを聞いたことが、**新たな問題点の発見や、課題解決に繋がった**
- 単独で抱え込まず、**他機関同士が連携することの重要性を改めて感じた**
- 様々な事例について考えることで、**援助技術の向上に繋がっている**



【8】

### 事例検討について

生活状況やバックグラウンド、有する課題などを、把握・共有したのち、意見交換を行っています。何らかで対応に苦慮する患者が、挙げられることが多いです。

### 参加者の声より

- ・多職種からのアドバイスが、問題点の発見や課題解決に繋がった
- ・他機関同士が連携することの重要性を、改めて感じた
- ・援助技術の向上にも繋がった

**地域ケア会議 取り組み成果**

- 他機関同士が連携する習慣が地域に根付き、ひとつのチームとして、支援の方向性を共有・統一できるようになった
- 多職種が交わることで、違う視点からのアクションプランが生まれ、知識やスキルの向上にも繋がった

↓

**多職種・施設間連携の推進に繋がっている**

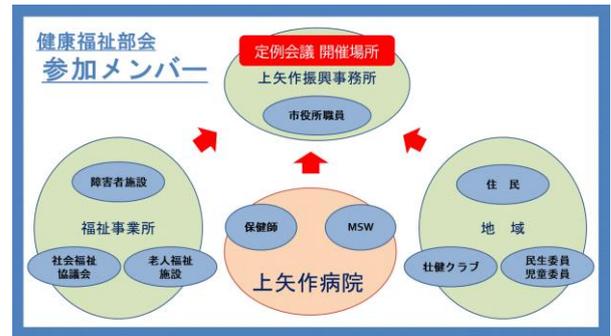


【9】

主な取り組み成果としては、

- ・他機関同士が連携する習慣が地域に根付き、ひとつのチームとして、支援の方向性を共有・統一できるようになった
- ・多職種が交わることで、違う視点からのアクションプランが生まれ、知識やスキルの向上にも繋がった

などが挙げられ、多職種・施設間連携の推進に繋がっていると考えます。



【11】

参加メンバーについて

参加者の立場は様々で、地域住民・行政・病院・福祉事業所から構成されています。

当院からは保健師とソーシャルワーカーが参加。

会長は住民の方が務めており、9月末現在、13名の部会員で活動しています。

**2. 健康福祉部会**

上矢作地域自治区における  
住民を中心とした主体的な取り組み  
地域スローガン

**子どもからお年寄りまで 安心して暮らせるまち 上矢作**

～健康福祉部会 取り組み課題～

- 医療・介護施設の存続と、充実発展を図る
- 住民の健康づくりを推進する
- 独居・高齢者・障害者の日常生活を支援する



【10】

2. 健康福祉部会

恵那市では各地域自治区ごとに、住民を中心とした主体的な活動が行われています。

「健康福祉部会」はそれらまちづくり活動のひとつであり、上矢作町の地域課題である、

- ・医療・介護施設の存続と、充実発展を図る
- ・住民の健康づくりを推進する
- ・独居、高齢者、障害者の日常生活を支援することに取り組んでいます。

**健康福祉部会 主な活動**

- ① 定例会議（毎月第3火曜日）  
取り組み内容の打ち合わせ  
勉強会・視察ツアーの実施
- ② ウォーキングの奨励  
ウォーキングコースの下見・検討  
ウォーキングイベントの開催  
コースマップの配布、看板の設置
- ③ 健康意識向上の啓発活動  
地域行事での健康チェックブース
- ④ 生活支援サービスの周知活動  
サービス一覧表の作成、配布



【12】

主な活動内容について

- ① 毎月の定例会議  
取り組み内容の打ち合わせや、勉強会・視察ツアーなどを行っています。
- ② ウォーキングの奨励  
コースを下見・検討し、イベントを開催しています。マップの配布や看板の設置も行いました。
- ③ 健康意識向上の啓発活動  
地域行事などでブースを出しています。
- ④ 生活支援サービスの周知活動  
一覧表を作成し、町内全戸に配布しました。

**健康福祉部会 取り組み成果**

- 住民や行政と協同し、地域の健康づくりや、医療・福祉の発展に携わることができた
- 地域の声やニーズ、当院への要望をダイレクトに知ることができる貴重な場である

病院バスでの送迎サービス（ドア・ツー・ドア）は、健康福祉部会での問題提起から運用が始まった

**住民・行政間連携の推進に繋がっている**



【13】

主な取り組み成果としては、

- ・ 住民や行政と協同し、地域の健康づくりや、医療・福祉の発展に携わることができた
  - ・ 地域の声やニーズ、当院への要望をダイレクトに知ることができる貴重な場であり、当院による送迎サービスは、部会での問題提起をきっかけに運用が始まった
- などが挙げられ、住民・行政間連携の推進に繋がっていると考えます。

**ご清聴ありがとうございました**



上矢作風力発電所

【15】

ご清聴ありがとうございました。

**おわりに**

山間部の地域医療を守る核として、  
これからも住民から頼られる  
病院であり続けるため…

**外部連携の継続と  
更なる発展を**




【14】

おわりに

山間部の地域医療を守る核として、これからも住民から頼られる病院であり続けるため…  
これらの取り組みを継続し、更に発展させていきたいと考えます。